



朝早くから爆音で目覚め、何事か！と思えば草刈りだったw

タミヨかよ〜。土曜の朝にやるのは止めてくれ〜。。。だろ？

で、しばらくして外へ出てみると、

あーあ。一面に咲き誇ってたタカサゴユリがきれーいさっぱりなくなったら！

草刈りおっさんは無情なのね〜。。。。

まいっけどさ。

それはいいんだけど、

ここんとこやっぱタカサゴの話題が増えてきて、妙なことに気づいたんだよね。

「このゆりはイースターリリーでヨーロッパでは云々」というやつ。

複数の方が同じように書いてるんで、多分同じサイトが情報ソースかと。

wikiだかなんだか知らないけどでたらめを信じるなよ〜。

別物だからって、おいらの間書いてるじゃん。

何百年か前の欧米にだね、テッポウユリもタカサゴユリも存在しないのだよ。

分かってほしいわあ。。。。

テッポウユリが海を渡ったのは幕末〜明治の頃。

それまでのヨーロッパにはないです！

マドンナリリーという小型のユリが白百合なんであってテッポウユリじゃないです！

でたらめ書くなよ〜。

ただ、テッポウユリが入ってからは、その育てやすさと花の大きさからか重宝され、

いつしか置き換わってしまったのも事実。

この時点以降のことをさしていつてるんだらうけど、

それは片手落ちというものじゃ。

花の名前ってずいぶんといひ加減に付けられて流布して行くから、
「絶対こう！」とは言いにくいんだけど、

マドンナリリー=白百合は学名 *Lilium candidum* という立派な一つの種（しゅ）であって、
そこいらに書いてあるような「白百合の総称」ではないですからね。

これがそもそものイースターリリーでもあるですよ。

バチカン市国の国花ね。

ほんとにね、腹が立つのよ。

そりゃまあ、今の片栗粉は片栗から作ってないとか、

コココーラにコカの実もコーラの実も使われていないとか、

うなぎが国産じゃなかったとか、

偽装は山ほどあるけどね。